

情報連絡員報告を中心とした

県内の中小企業動向

4月

漬物製造

デフレによる納入価格の低下を受けている。

めん類製造

今年度、第一回目の小麦価格改定が小幅な値下げで実施されている。一方、副資材は高止まりの状況が続いており、製品価格は各社共据置きを予定している。

シャツ製造

少しは持ち直しの感もあり。百貨店なども少しずつ良くなっている模様。業界全体では依然厳しい。

製材

前月同様に新規の需要は少なく、修復又は、増築を中心に推移。

製材

住宅業界の景気回復がないと、経営の向上が望めない。関税の高騰により、ロシア材の代わりに米材の輸入を検討。

印刷

売上高は3月と比較して、各社増減まちまち、総体では減少傾向。官公需は、発注点数や品質を控えるなどして対応。民需関連では広

告宣伝費等の圧縮により、受注競争が激しくデフレの影響も大きい。

生コン製造

上期の状況は未だ苦しいが、下期は向上といった情報も(民間投資が少しずつ動き出す方向に)。

電気鍍金

4月に入り幾分売上高(生産高)が(約20%)増加したが、続くか?今後の推移を注視したい。

鉄工業

4月に実施した組合員向け事業所動向調査によると、景況が大幅に改善され、そのことを裏付ける材料として、受注売上高が増加し、また、設備稼働度も上昇している

青果小売

天候不順により、相場上昇。それに伴い、消費が落ち込んでいる。納品業務を中心にしている組合員は、資金繰りが悪化している。

小売

少しずつだが向上き傾向。

小売

ファッション関係は、気候が安定せず、春物の販売時期を逸した感がある。食品は、季節物が日照不足で不作の状況にあり、価格は上昇傾向にある。新規競合店の影響

建設揚重

需要の停滞が続く、5月は定修の予定があるが、通常より小規模になる模様。

格の低廉化を招き厳しい状況になることが懸念される。

建築材料卸売

経費削減は限界、人員削減を余儀なくされている。コストアップを価格に転嫁すべく、値上げを打ち出しているが、需要家に吸収できる余地なく、極めて厳しい状況。

電気機器小売

テレビ販売は3月末から4月当初まで順調に伸びたがその後は品物が間に合わず、1~2ヶ月待ち。エコー電の製造が間に合わないの

青果小売

天候不順により、相場上昇。それに伴い、消費が落ち込んでいる。納品業務を中心にしている組合員は、資金繰りが悪化している。

小売

ファッション関係は、気候が安定せず、春物の販売時期を逸した感がある。食品は、季節物が日照不足で不作の状況にあり、価格は上昇傾向にある。新規競合店の影響

建設揚重

需要の停滞が続く、5月は定修の予定があるが、通常より小規模になる模様。

害虫防除

前年同月比と比較すると順調な伸び。外来種の繁殖が非常に多く、ネズミ等の駆除が多くなっている。最近、ミツバチの養蜂所からの連

輸出入業

売上は前月比、前年同月比が上昇した。

で既存店も改装等を行うなど、競合関係は「層激化」している。

小売

消費者が買い物を最低限度に抑えている傾向が感じられる。ついで買いはしなくなった。

農業機械販売整備

春先きの異希低温と日照不足で野菜高騰、出荷したくも「物」がない。当業界ならではの特性を活かし、変化対応し生き残りを策す。

印鑑小売

個人消費の低迷、低価格競争のデフレ傾向とで非常に厳しい。技術をいかにアピールし、他店との差別化を図っていくかが課題。

小売・サービス

周辺の空き店舗が減りつつある模様。衣料品に於いては、春物が全く振るわず、在庫をどのように減らすか腐心している。

建設揚重

需要の停滞が続く、5月は定修の予定があるが、通常より小規模になる模様。

害虫防除

前年同月比と比較すると順調な伸び。外来種の繁殖が非常に多く、ネズミ等の駆除が多くなっている。最近、ミツバチの養蜂所からの連

輸出入業

売上は前月比、前年同月比が上昇した。

絡が多くなっている。

遊覧船

2月~4月の近來にない、天候不順の影響を受けたと思われる。

一般廃棄物処理

引越し時期も終わり、前月比と比べると、仕事の依頼件数がかかる状況は悪い。

学習塾

新学期が始まったが、入塾状況は昨年と変わらず。

土木建築サービス

景気はややもち直しているが、建設関連は引き続き厳しい状況が続くと思われる。

ソフトウェア業

景況の変化として、依然厳しい状況である。

建設業

毎年のことながら年度初めは受注が大幅に落ち込む。

貨物運送

連休突入前には多少の貨物の動きがあったものの、前月に比べると減少へ。タクシー業界では本格的な車両台数調整が始まっている。